

知っていますか？

感震ブレーカー!!

感震ブレーカーとは？

地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときにブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に通電火災を防止することができます。

【能登半島地震において発生した火災について】

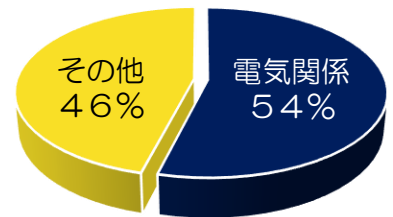
輪島市で発生した大規模火災における火災の原因については、現在も調査中です。しかし、令和6年2月15日時点の調査結果では、屋内電気配線が地震の影響で傷つくなどして発生した電気に起因する火災の可能性が考えられるとのことです。（調査継続中：総務省消防庁消防研究センター）

【地震による火災の過半数は電気が原因】

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定された108件の過半数が電気関係の出火でした。

地震が起こす電気関係の出火とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する通電火災のことです。

東日本大震災における火災の発生原因



【柏市直下型地震が発生した場合】

平成31年に実施した柏市防災アセスメント調査(被害想定調査)の結果、感震ブレーカー設置率100%に併せて初期消火率が向上した場合に、焼失棟数及び死者数が9割以上減少すると想定されました。

対策なし

感震ブレーカー設置率100% + 初期消火率向上

項目	被害予測結果
火災による焼失棟数	4,658棟
火災による死者数	120人



項目	被害予測結果
火災による焼失棟数	127棟
火災による死者数	3人

感震ブレーカーを設置しましょう!!

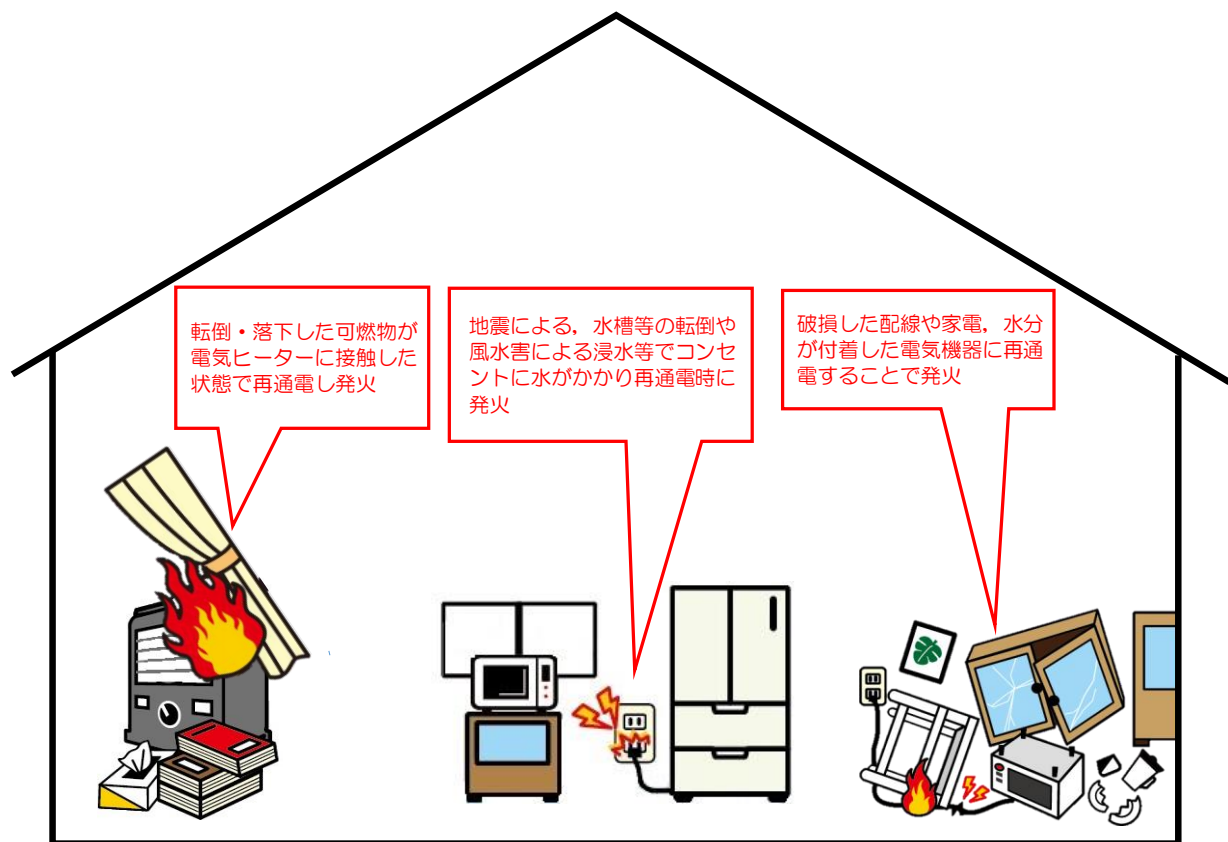
知っていますか？

通電火災!!

通電火災とは？

通電火災とは、電気機器を原因とする火災である「電気火災」のうち、地震の揺れなどの影響で停電した後に電気が復旧することで発生する火災です。

【通電火災の主な原因】



【通電火災を防ぐには！！】

- ・地震発生時に設定値以上の揺れを感知したと時にブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める感震ブレーカーを設置する。
- ・日常使用している暖房機器については、転倒OFFスイッチなどの安全装置付きのものを使用する。
- ・地震時に、可燃物の落下や転倒を防止するため、居室内の整理整頓、家具等の転倒防止を行う。

これらを行うことが出火防止にはとても有効です！！